

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科は、全国平均をやや上回っている。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」は約20ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」は約7ポイント全国を上回っている。無回答率も低く、自分の考えを書こうとする姿が見られる。 ○算数科は、全国平均を上回っている。特に、「A 数と計算」は約10ポイント、「D データの活用」は約7ポイント全国を上回っている。無回答率も低く、しっかり問題に向き合おうとしている姿が見られる。 ○理科は、全国平均を上回っている。特に、「粒子を柱とする領域」「地球を柱とする領域」は、全国を約7ポイント上回っている。 <課題> ▲国語科では、複数の資料から必要な情報を読み取る力や条件に併せて作文する力に課題が見られる。 ▲算数科では、図形の意味や性質についての理解や、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて説明記述することについて課題が見られる。 ▲理科では、電気を通す性質や磁石に引き付けられる性質をもつ金属についての理解や顕微鏡の操作方法、実験の意図や条件の揃え方など正しく調べる方法に対する理解などに課題が見られる。	<成果> ○基礎的な生活の環境は整っている。 ○学校以外での学習時間が多い。 ○新聞を読んだり読書を好んだりする児童が多い。 ○自然豊かで地域のつながりが強いと感じている児童がいる。 <課題> ▲自己肯定感が低い児童が多い。 ▲友達との関わり方が苦手と捉えている児童がいる。 ▲分からないことがあった場合、自ら学び方を考え工夫できると感じている児童が少ない。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○5年生は国語科・算数科ともに岡山県平均を上回っており、学習の定着が感じられる。 ○全学年漢字の読みができています。 ○3年生は聞き取り、4年生は共通点の読み取り、5年生は文章の内容の読み取りが比較のできています。 ○基本的な四則計算、基本的な図形の意味や特徴の理解はできている。 <課題> ▲国語科では、主語・述語、修飾語など「言葉の特徴や使い方に関する事項」の理解が十分ではない。また、条件に合わせて、文章を作成したり、自分の考えをまとめて分かりやすく書いたりすることに課題がある。 ▲算数科では、問題文の情報の中から必要な情報を読み取り、問題を解いたり考えを説明したりすることが苦手である。また、相対的な数の大きさの捉え方、小数や分数も苦手としている。さらに、基本図形の構成要素についての理解（3年生）、棒グラフから何倍かを読み取ること（4年生）、概数の範囲や二次元表の読み取り、数量関係を割合を使って説明すること（5年生）に弱さが見られる。	<成果> ○基本的な生活習慣が身についている。 ○授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けたり生かしたりできていると感じている児童が多い。 ○自分の考えを工夫して書いたり伝え合ったりすることができていると感じている児童の割合が高い。 <課題> ▲自分が住んでいる地域が好きだと感じている児童の割合があまり高くない。 ▲落ち着いた雰囲気での学習できていると思っている児童がやや少ない。

改 善 策
学 校 で の 取 組

①みんなで守る学習規律 ・心構え（チャイムの合図を守る。） ・身構え（姿勢「ピン・ピタ・グー」） ・物構え（忘れ物をなくす） ・教室環境を整える。 ・話し方・聴き方・発表の仕方 ②「わかる・できる・深める」授業づくり ・主体的・協働的学びとなる授業改善と、「探究的な学び」を促進する価値ある課題設定の工夫 ・ICTの効果的な活用 ・板書の工夫 ・「金小学びのスタンダード」の実践 ・互いの考えや意見を共有し、学びを深める時間の確保 ③基礎・基本の定着のための取組 ・主体的な学びの実現 ・苦手分野の復習（朝学習の時間・チャレンジタイム） ・読書活動の充実 ・「早ね・早起き・朝ごはん 金光！学力アップ大作戦」（生活習慣）カード ④総合的な学習を中心とした「主体的・協働的に問題を解決できる力」の育成 ・相手意識や目的意識をもった表現活動を行うこと。 ・思考ツールを活用し、考えを深めたりまとめたりすること ・岡山型 PBL を基にした課題解決学習の展開 ・自分の考えをもつ時間や目的に応じた書く活動や言語活動、考えや意見を共有し、深める時間を設定すること ⑤道徳・特別活動等を中心にして心が通い合う温かな学校風土づくり ・考える道徳の授業づくり ・自主的、実践的な態度をはぐくむ特別活動の推進	小中一貫教育校「金光学舎」で の 取 組 ○中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間（「家庭学習がんばりカード」）を実施して、学習習慣・読書週間の確立を図る。 ○生活習慣強化週間「早ね！早起き！朝ごはん！金光 学力アップ大作戦」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。 ○中学校区学校運営協議会の目指す子ども像「広い視野と思いやりの心をもった、心身共に元気で明るく前向きな子」を設定し、共通理解のもと各教科・領域において連続した取り組みを実践する。 ○「浅口市立小学校・中学校クロームブック学年別スキル表」を活用し、各学年で系統立った指導を行う。 家庭・地域へのお願い ○家庭での生活リズムの向上 ・家庭での時間の使い方や、メディア利用の家庭でのルールづくりを子どもと一緒に行いましょう。「早寝・早起き・朝ごはん 金光！」を活用し、現在身に付いている規則正しい家庭生活が継続できるよう支援をお願いします。
--	---